

くすのき だより

心ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
39

2024年
1月発行



撮影場所／高岡市雨晴海岸(写真／黒原 直美)

地域の皆さんにもっともっと
貢献したい

済生会富山病院 ただいま進化中!!

トピックス

- ちびっ子消防士職場訪問
- 冬到来! 新型コロナとインフルエンザに要注意!!
- 新任自己紹介
- 心臓リハビリ
- 診療科紹介: 循環器内科
- 無料低額診療事業について
- 市民公開講座を終えて
- 「外来患者待ち時間調査2023」結果について
- 理念・基本方針
- クラウドファンディングご支援のお礼
- 研修医も頑張っています



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院
<http://www.saiseikai-toyama.jp/> hospital@saiseikai-toyama.jp

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



地域の皆さんにもっともっと貢献したい

済生会富山病院
ただいま
進化中!!

災害用非常発電機設置工事

当院は「災害拠点病院」認定に向けて取り組んでおります。
災害発生時に、地域住民の皆さんに災害医療を行う病院を目指します。
そのため、非常用発電機の設置工事を行っています。

健康管理センター増築工事

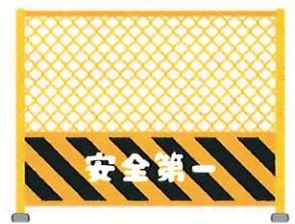
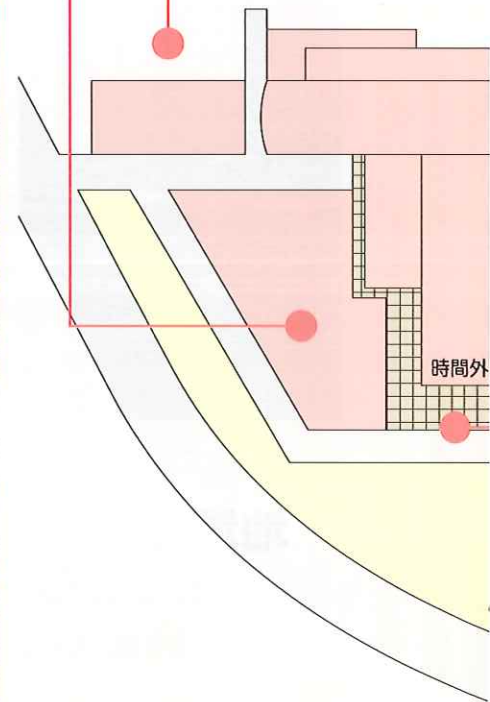
現在、健康管理センターを増築中です。
予防医療体制を確立し、地域の皆さんの健康寿命の延伸を目指します。



健康管理センター 完成予想図 ①



健康管理センター 完成予想図 ②



済生会富山病院の職員一同は、地域住民の皆さんにもっと頼っていただけるように、そして予防・医療・福祉などのさまざまな視点からもっと貢献できるようになりたいと考え、常に進化を続けています。病院敷地内の複数ヶ所で建築工事を行っています。これらもその一環です。騒音等でご迷惑をおかけしておりますが、ご理解を賜りますようお願いいたします。



災害用備蓄棟新築工事

災害用備蓄品、保存食のための倉庫を新築中です。
災害時用として、保存食や毛布・衛生用品等を備蓄します。



救急処置室拡張工事・感染対応室新築工事

クラウドファンディングで皆さんにご協力いただき、救急患者受け入れの充実を図るため、救急処置室の拡張工事を行っています。また、今後の如何なる感染症への対策として、時間外出入口横に、感染対応室を建設中です。



感染対応室 完成予想図 ①



感染対応室 完成予想図 ②



ちびっ子消防士職場訪問

令和5年11月14日(火)に済生会富山病院1階エントランスホールで、おおひろたこども園の年長児24名が、火災予防を呼びかけるため、当院を訪問しました。

富山市北部防火協力会の主催で毎年行ってきた行事でしたが、コロナ禍で2019年を最後に、長らく活動が中止となっており、今年は4年ぶりの開催となりました。イベントでは、富山北消防署査察課長より今年度の火災状況や火災予防に対する取り組みについての紹介や、法被姿のちびっ子



消防士24名による、合唱とよさこい踊りが披露されました。最後に堀江病院長より、お礼のことばと記念品が園児たちへ贈られました。来院された外来患者さんは、しばらく足を止め、子供たちの元気いっばいの歌と踊りを見ていました。約20分間と短い時間でしたが、子供たちのお遊戯を見ていた大人たちは、心が癒され、楽しいひとときを過ごすことができました。

心臓リハビリ 市民公開講座を終えて

内科部長 大原 一将 リハビリテーション科係長 理学療法士 松下一紀

11月26日に富山国際会議場にて市民公開講座を開催しました。講座の前半は「血管年齢測定」「体力測定」などの体験コーナー、「お薬カレンダー」「済生会の紹介」などの資料展示を行い、後半は医師・看護師・管理栄養士などの多職種で「心臓病と共に豊かな生活への道しるべ」をテーマに講演・パネルディスカッションを行いました。

現地での開催は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり5年ぶりとなりましたが、当日は約90名の方に参加頂き、来場者の方からは「自分の健康度を知れて良かった。」「大変勉強になりました。」などのご感想をいただきました。

心疾患(心臓病)は日本人の死因第2位です。バランスの良い食事や適切な運動など日頃の生活習慣を見直し、改善することが、発症や再発を予防するために必要とされています。

当院ホームページでは、心臓病に関するさまざまな動画を公開しています。右記二次元コードからもご視聴いただけますので、是非ご覧ください。



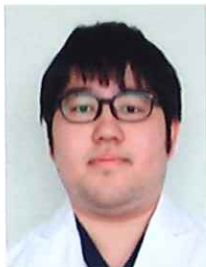
※市民公開講座の様子



▲動画視聴はこちら

研修医も頑張っています

①氏名 ②抱負・自己PR等



ネ モト タク ミ

① 根本 卓実

②ちょうど研修生活を開始して1年になり、たいへん充実した日々を送っています。短い期間ですがこれからもよろしくをお願いします。



ヤン ウ チョル

① 梁 宇哲

②研修医2年目の梁です。来年から整形外科医として働きます。はやく一人前になれるよう精進してまいります。



カミ サカ

① 上坂 ころ

②日々の研修を大事にし、信頼される医師になれるよう患者さんの心に寄り添った診療を心がけたいと思います。



キノ シタ ヨウ スケ

① 木下 陽介

②研修医1年目の木下です。ようやく研修医としての生活に慣れてきたので、中弛みしないよう日々精進していきたいと思います。



コ バヤシ ダイ キ

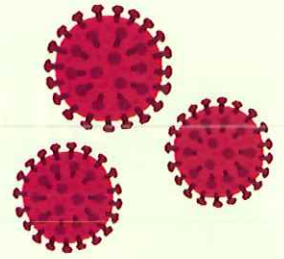
① 小林 大輝

②2年目になっても変わらず、病気だけでなく患者さんを診る気持ちを忘れずに日々研鑽して参ります。



冬到来!

新型コロナと インフルエンザに要注意!!



【新型コロナウイルス感染症】

富山県では11月下旬より緩やかに増加しています。冬に感染が拡大することが予想されています。

【インフルエンザ】

例年インフルエンザは12月～3月に流行しますが、今年富山県では例年より2ヶ月早く流行が始まりました。すでに小学校等で学級閉鎖などが発生しています。このような例年にないインフルエンザの流行の原因として、新型コロナウイルスのパンデミック発生後の2020/21年シーズンにインフルエンザの流行が消失したために、国内でインフルエンザウイルスに対する抗体を持たない者が増加していることが一因ではないかと考えられています。(富山県感染症情報センター 感染症発生動向速報より)

【基本的な感染対策について】

新型コロナ感染症に対する基本的な感染対策は、インフルエンザ対策としても有効です。

●マスクの着用

- 医療機関や高齢者施設を訪問するとき
- 医療機関や高齢者施設などの従事者
- 症状があるとき



咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「咳エチケット」を心がけましょう。咳エチケットとは、咳・くしゃみがでるとき、マスクを着用する・マスクを持っていないときティッシュや腕の内側で口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れる・使ったティッシュはすぐにごみ箱に捨てる・手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときはすぐに手を洗う。

- こまめな手洗いしましょう
- 定期的に窓を開けて換気する
- 人と人の距離の確保
- 体調が悪いときは無理をしない



【症状があり医療機関を受診するとき】

まずはかかりつけ医に相談

発熱、のどの痛み、咳、倦怠感等の症状があり、受診を希望される場合、まずはかかりつけ医にご相談ください。

相談する医療機関に迷う場合

富山県ホームページ「外来対応医療機関」の一覧より身近な医療機関をお探しください。

◇ 済生会富山病院「発熱外来」：076-437-1111 月～金曜の9時～11時(祝日は休診)
受診される場合は、必ず医療機関へ電話にて連絡し受診ください。よろしくお願ひします。

富山県では相談窓口を設けています。

◇ 新型コロナ健康相談窓口：0120-478-220(24時間、休日も対応)

循環器内科 ～循環器内科ってどんなところ？～

済生会富山病院循環器内科では、心臓や血管病の診療を行っています。心臓病には心筋梗塞や狭心症といった「虚血性心疾患」、心臓の筋肉(心筋)が弱ってしまう「心筋症」、心臓弁膜に異常を来たす「弁膜症」、動悸やめまいを生じる「不整脈」が含まれます。血管病には、足の動脈が細くなったり詰まったりする「閉塞性動脈硬化症」、足の静脈が膨れてこぶになる「下肢静脈瘤」が含まれます。当科では、これらの病気を高性能な機器で診断し、薬やカテーテルという細い管を使って治療しています。また心臓リハビリテーションによる運動療法を行い、心臓病教室を定期的で開催し病気の解説や、日常の注意点などを説明しています。

1 急性心筋梗塞の治療

急性心筋梗塞は、心臓の動脈(冠動脈)が急に詰まることで心筋が壊死し、強い胸痛を生じる病気です。放置すると、4割の方が亡くなる怖い病気です。カテーテル治療で死亡率を1割以下に下げることが出来ます。すぐに病院に来れば、詰まった血管を風船でふくらませ、ステントという金属の筒を置いて血流を戻せます。なるべく早く治療を開始すると良いので、当院では来院1時間以内に治療を開始するように体制を整えています。



2 狭心症の治療

冠動脈が動脈硬化で細くなり、体を動かした時に胸が苦しくなる病気です。カテーテルを使って狭くなった血管を風船とステントで治療します。冠動脈がとても硬くなって風船で広がらない場合もあります。2021年からローターブレードという超小型ドリルが導入されました。この機器の導入でそれまでは硬くて広げられなかった血管も広げることが出来るようになりました。

3 不整脈の治療

2022年7月から、心房細動のカテーテル治療(心房細動アブレーション)も開始しました。心房細動で動悸や息切れがある方は、カテーテルで治療することが出来ます。

4 閉塞性動脈硬化症の治療

足の動脈が細くなったり詰まったりすると、歩いたときに足が痛くなります。足の血管も同じようにカテーテルを使って風船やステントで治療することが出来ます。足の血流が戻ると、歩いた時の足の痛みが良くなります。

5 下肢静脈瘤の治療

形成外科と連携して、下肢静脈瘤のカテーテル治療も行っています。

6 睡眠時無呼吸症候群

睡眠中に気道が閉塞することで夜間のいびきや日中の眠気が出ます。睡眠時無呼吸は、心血管病や不整脈、糖尿病、高血圧の原因となります。脳波や気流センサーで睡眠時の呼吸状態を確認することが出来ます。CPAPという呼吸補助機器で治療が出来ます。耳鼻咽喉科や歯科口腔外科と連携して治療を行っています。

何かお困りの症状があれば、循環器内科にご相談下さい。



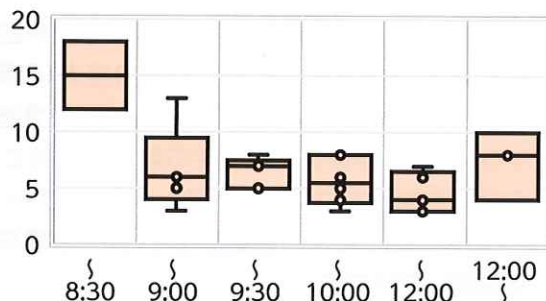
「外来患者待ち時間調査2023」結果について

当院は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を使命とし、患者さんやご家族、地域住民の皆さまにご満足いただける医療を心がけ、日々の診療に努めております。そこで当院では、令和5年7月24日に外来で待ち時間調査を実施しましたので、ご報告いたします。

① 紹介患者受付(図1)

紹介患者受付の待ち期間は平均6.6分(3分～18分)でした。受付開始時間の8時30分以前に来院されていた方の待ち時間は10分を超えていました。紹介状を持参された場合は、受付窓口で紹介状の登録や保険証の確認などの作業があるため、待ち時間が長くなる傾向ですが、できるだけ短縮できるように見直しを図っていきます。

図1. 紹介患者受付待ち時間



② 各科外来(図2、図3)

予約患者で平均待ち時間が最も長かったのは外科でしたが、昨年に比べ14分短縮していました。外科では、採血結果の確認後に当日の化学療法の実施を決定することがあるため、待ち時間が長くなっていると考えられました。昨年に比べ内科、歯科口腔外科、皮膚科、産婦人科の待ち時間は短縮しましたが脳神経外科・内科、泌尿器科、整形外科で待ち時間が延長し、全体の平均は昨年同様でした。予約のない場合の平均待ち時間は、予約のある場合に比べ16分長くなっており、昨年より3分長くなっていました。

図2. 各科外来待ち時間(予約あり)

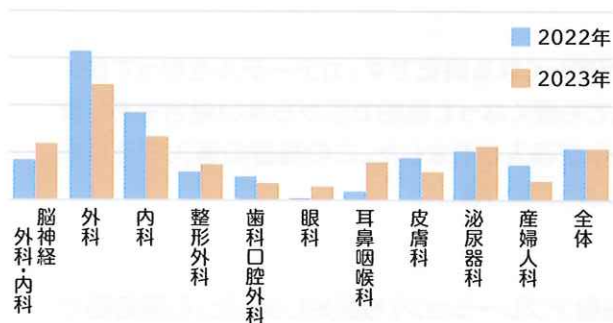
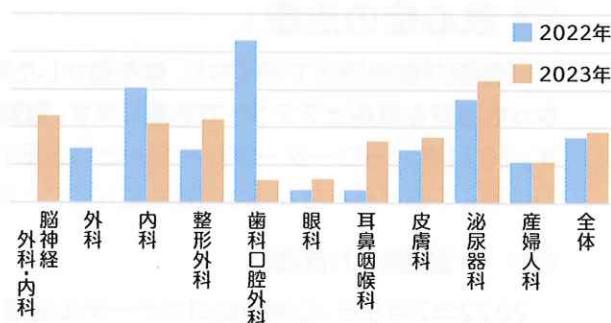


図3. 各科外来待ち時間(予約なし)



③ 採血及び診察前検査有無と待ち時間(図4、図5)

採血受付発券機の導入により、昨年に比べ待ち時間が30分以上の方が減少し、15分未満の方が増加していました。診察前に検査がある場合は、無い場合に比べて待ち時間が長く(特に待ち時間15分未満が少なく)、1時間以上が多い結果でした。診察前の検査を別の日にすることで待ち時間を短縮できる可能性があります。

図4. 採血待ち時間

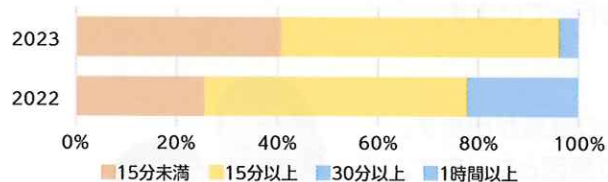
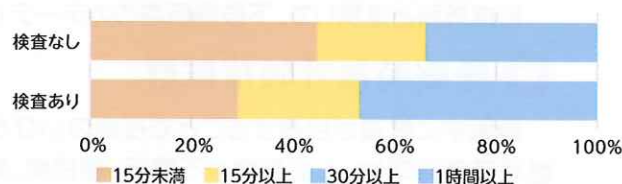
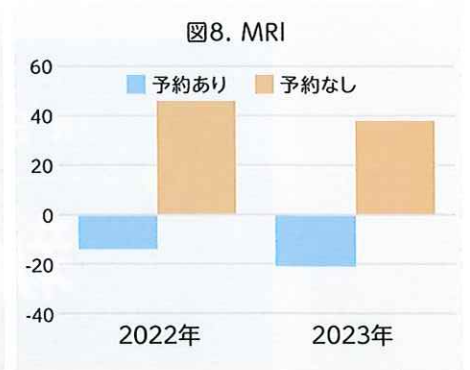
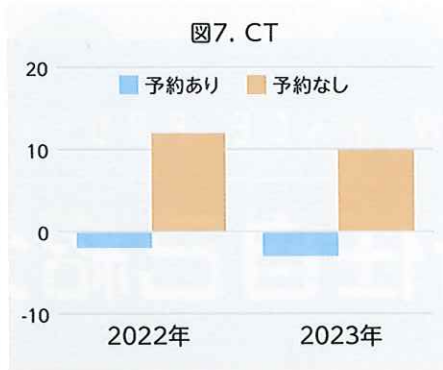
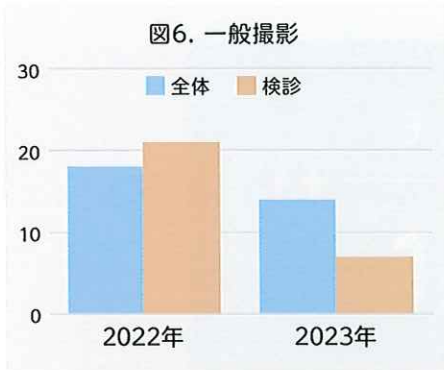


図5. 診察前検査有無と待ち時間



④ レントゲン一般撮影、CT、MRI検査(図6、図7、図8)

CT・MRI検査の待ち時間は、前回調査とほぼ変わりませんでした。昨年長い待ち時間が問題となった一般撮影は、健康管理センターと協働して対策したことで、大幅に短縮されました。まだ一部に、待ち時間の長い例があり、他部門と協働して待ち時間を短縮するように対策を継続します。



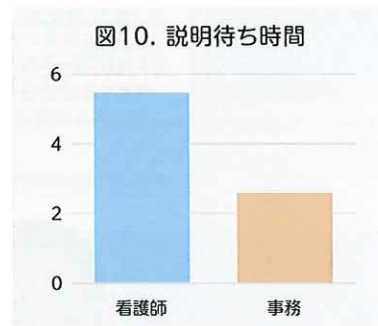
5 生理機能検査(図9)

昨年に比べて、待ち時間は心電図検査が3.5分から1.8分へ、呼吸機能検査が2.7分から2分へCAVI検査が9.3分から0.3分へ短縮しました。また、予約の心エコー検査の待ち時間は7分と昨年より0.4分短縮していました。腹部エコーの待ち時間が長く、検診受診者が8時30分から10時に集中するためと考えられ、検診センターと協働して対策する予定です。



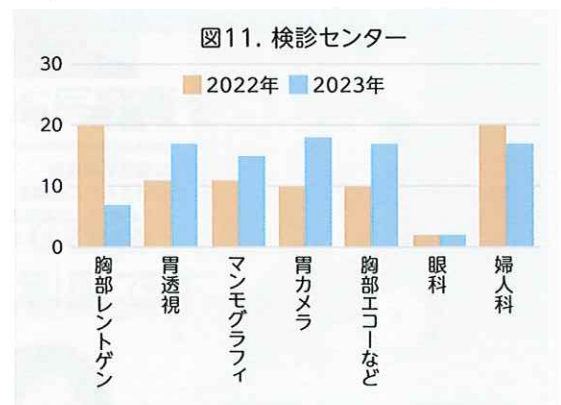
6 入院説明(図10)

入院説明の待ち時間は、6分以内でした。看護師の説明には、患者さん毎の事前準備に一定の時間が必要でした。待ち時間の短縮に準備時間の短縮と説明時間が集中しないような対策を検討しています。事務説明の待ち時間は窓口業務との兼任のため長くなる可能性があり、時間帯による人員配置の見直しを検討しています。



7 健康管理センター(図11)

胸部レントゲンは、放射線科と協働して待ち時間の短縮を対策し、大幅な短縮ができました。一方で、コロナ禍が落ち着き受検者が増加したため待ち時間が延長している項目も多く認められました。今後も各部門と協働して待ち時間の短縮を目指す必要があります。



8 リハビリテーション(図12)

現状では、ほぼ待ち時間はありません。今後、予約時間から前後する場合も想定して当日のスケジュールを組むなどの対応を継続していきます。



9 会計待ち時間

今回の平均待ち時間は4.8分で、前回2022年の4分に比べやや延長していました。特に10時半～12時半の時間帯で待ち時間が6分～10分と長く、前回より増えていました。今後、時間帯ごとの体制についても見直してまいります。



ミッション(使命) 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと



行動指針 どのように考え、どのように行動するかの基本となる方針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます。

患者さんの権利	患者さんの責務
<ul style="list-style-type: none"> • 個人としてその人格を尊重される権利 • 質の高い医療を公平に受ける権利 • 十分な情報を知り、説明を受ける権利 • 選択の自由と自己決定する権利 • プライバシーが守られる権利 	<ul style="list-style-type: none"> • 自身の情報を正しく提供する責務 • 診療行為に協力する責務 • 療養に専念する責務 • マナーや規則を守る責務 • 医療費を支払う責務

クラウドファンディング ご支援のお礼

“救急処置室の環境整備”と“感染症対応室の併設”の資金を調達するため、令和5年6月から7月にかけてクラウドファンディングに挑戦しました。おかげさまで、ほんとうに多くの皆さまからご支援いただき、プロジェクトは成立しました。ここにあらためまして、深く感謝申し上げます。これからも、地域に根ざした医療を提供し続け、安心して暮らせる地域社会の形成にお役に立ちたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

院長 堀江 幸男

済生会富山病院報
くすのきだより
発行者
富山県済生会富山病院
院長 堀江 幸男

【編集委員会】
久保道也 黒原直美 山崎真美子
西川和良 上田周平 作田甚太郎
宮坂歩夢 前田伸明 小島吉保
姉崎正起子 北森大地 浅野由紀
小笠原亜海 柴原葉奈 河瀬晶美

令和5年度 ご寄付のお礼
石黒 重男 様
貴重なご厚志ありがとうございました。